

新潟県立中央病院 倫理委員会オプアウト書式

①研究課題名	開腹前立腺全摘出術とロボット支援下前立腺全摘術の患者背景の比較(仮題)
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2019年から2024年にかけて当院で施行した開腹前立腺全摘出術と他院へ紹介したロボット支援下前立腺全摘術の患者背景と術後経過等の比較についての研究:(責任者：保坂仁哉)
③概要	2019年から2024年にかけて当院で施行した開腹前立腺全摘出術と他院へ紹介したロボット支援下前立腺全摘術の患者背景(年齢、住所と病院からの距離)と術後経過(再発の有無、ドロップアウト率)について調査し、有意差があるかどうかについて検討する
④申請番号	第2638号
⑤研究の目的・意義	他院でロボット支援下手術を希望した患者と、当院での開腹手術を希望した患者の背景や、希望した理由、手術後の経過について比較検討し、上越地域のようにロボットが導入されている病院がない地域で前立腺癌の患者にどのような治療を提示していくのが最善なのかを考察し、2027年の第114回日本泌尿器科学会総会で発表することを目的とする。
⑥研究期間	2019年～2024年まで(後方視的研究)
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）	第114回 日本泌尿器科学会総会にて研究成果を発表する、匿名化した情報をまとめてグラフ化したものをポスターとして提示する。ポスターのデータは日本泌尿器科学会総会本部へ発表目的に提供する
⑧利用または提供する情報の項目	2019年から2024年にかけて当院で施行した開腹前立腺全摘出術と他院へ紹介したロボット支援下前立腺全摘術の症例について、電子カルテに記載されている患者住所や、手術記録や病歴の経過についての記載、血液検査のデータを収集し、匿名化した情報をまとめてグラフにして明示する
⑨利用の範囲	第114回日本泌尿器科学会での発表以外の目的には使用しない。
⑩資料・情報の管理について責任を有する者	泌尿器科医師 保坂仁哉

⑪お問い合わせ先	泌尿器科医師 保坂仁哉
----------	-------------